

## 「小・中一貫の教育推進に向けて」

地域連携教育エリアアドバイザー 大塚ゆかり



田布施町は、コミュニティ・スクールを核にした「小・中一貫の教育」(田布施学園[仮称])を推進しています。4小1中、すべての小中学校が実施している共通の評価項目からなる学校評価「田布施モデル」を活用して、成果を検証し、課題解決に向けた取組を加速しています。今年度は、よりよい協働のために、熟議の充実や、学校ごとの学習支援ボランティア連絡会議などの研修の充実に力を入れ、工夫改善を行いながら実践しています。

## 田布施町の推進構想

### 地域ぐるみの教育体制を生かした小中一貫教育の推進

#### 1 「田布施学園」構想の仕組みを活用した取組

田布施町内の1中学校4小学校のコミュニティ・スクールが連携して、町全体で小中9年間を通して子どもの育ちを支援していく組織を構築しています。

学校運営を推進する「小中一貫の教育部会」と学校支援を推進する「地域コーディネイト部会」からなる地域学校協働本部を中心に、家庭支援や地域活性化を含め、町民の力を結集した仕組みとなっています。

##### (1) 学校評価の項目統一

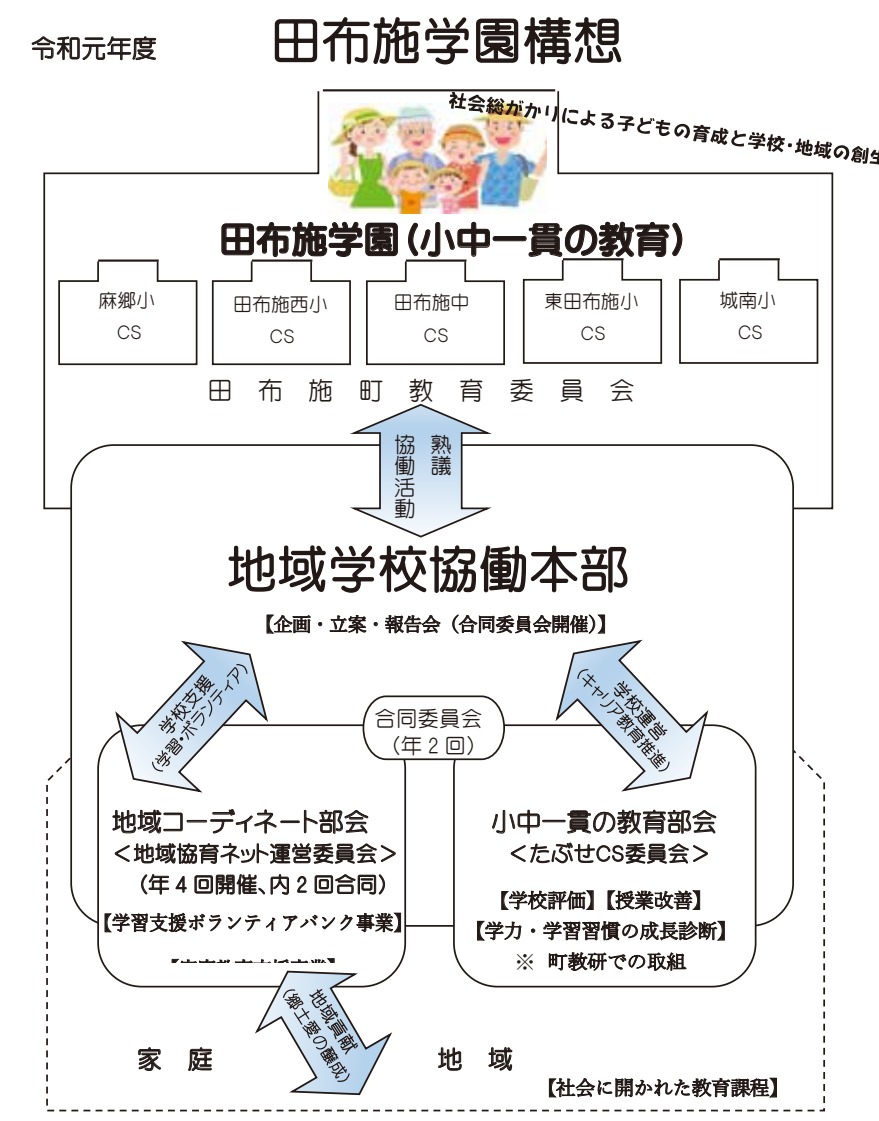
町内全小中学校の取組の水準を一定化するため、共通の学校評価項目を設定しました。その過程で、教職員評価、保護者や地域住民による評価との整合性もとっています。また、アンケート集計ツールによる分析の効率化も図っています。

##### (2) 学校運営協議会の機能を生かした学校運営

学校の課題解決や学校教育目標の達成に向けて、学校運営協議会での熟議決定事項を実践に移すために、保護者や地域住民が積極的に学校運営に参画する体制作りを推進しています。

##### <その他の統一取組>

「田布施ブランド 授業モデル(小中)」 「読書活動の推進」 「成長診断テスト」 「課題克服連携カリキュラム」 「ノーメディアデーの設定」 「サマースクール」等



<田布施学園(小中一貫の教育)構想図>

#### 2 田布施学園構想の成果や課題

##### (1) 小中が連携した学校づくり

授業モデルを活用した授業改善と学校評価、全小学校15時30分下校の実現と地域住民による放課後支援、小中合同研修会の実施等により、小学校間での学力差が解消し、町内小中学校の教育実践を通じ教育の品質が保証され、中学校への指導の継続を実現しています。

##### (2) 学力の向上

学力面では、学校運営協議会やPTAの協力を得て、家庭学習や読書時間の増加、望ましい生活習慣の定着が進んでいます。

##### (3) 自己肯定感の向上

学校への支援や地域へのボランティア活動等を通して、自己肯定感や郷土を愛する心や地域に対する関心の高まりが見られます。そして、地域住民は、志を果たしに田布施に帰ってくる子どもが増えることを期待し、地方創生の主役である子どもたちへ熱い思いを馳せています。

##### (4) 実態を生かした見直し改善

児童生徒や地域の実態をしっかり把握し、学校評価項目の見直しや改善を行い、学校評価を活用した9年間のつながりを重視した学校運営を行っていく必要があります。また、地域を支える人材の育成として、地域連携教育担当者の育成を推進していきます。

#### 3 成果を図る指標

- (1) 子どもの成長(学力・地域貢献等)
- (2) 教職員の意識・行動の変容(地域貢献、地域社会との接点)
- (3) 保護者・地域住民の意識・行動の変容(学校支援)



「学校運営協議会に小学校長も委員として参加し、小学校や地域の関わりについて熟議を行いました」



「田布施中学校出身の映画監督片元亮さんによる講演会「ようこそ先輩!ふるさとを愛するところをカタチにする」

## 活動取組

### 麻里府公民館、麻郷公民館

#### 教職員による地域貢献



麻里府・麻郷公民館で、地域の盆踊りでやぐらを飾るささ飾りをつくる講座がありました。地域貢献活動の一つとして、4名の教職員が講座の講師を務めました。

### 東田布施小学校PTCA

#### 地域と学校が連携した学びと育ちの場づくり



家庭、地域、学校が連携して子どもたちを育てるため、放課後教室や地域で田んぼの生き物調査・田植えなどの体験活動を行っています。

### 田布施町立田布施西小学校

#### 学びと育ちの小中一貫教育



夏休み学習会の地域住民や中学生による支援の取組では、本校と田布施中学校運営協議会委員兼任者の声かけで、例年の2倍の中学生が来てくれました。本校卒業生も多く、これから先よき伝統となることでしょう。

### 田布施町立城南小学校

#### 熟議と協働による推進



学校運営協議会委員と全教職員が「学力向上・心の育成・体力向上」の各プロジェクトで熟議を行い、学校教育目標達成のために連携・協働して取組む内容や方法について共通理解を図りました。